

IV

埼玉県地域のダイバーシティ研究環境実現

彩の国女性研究者ネットワーク

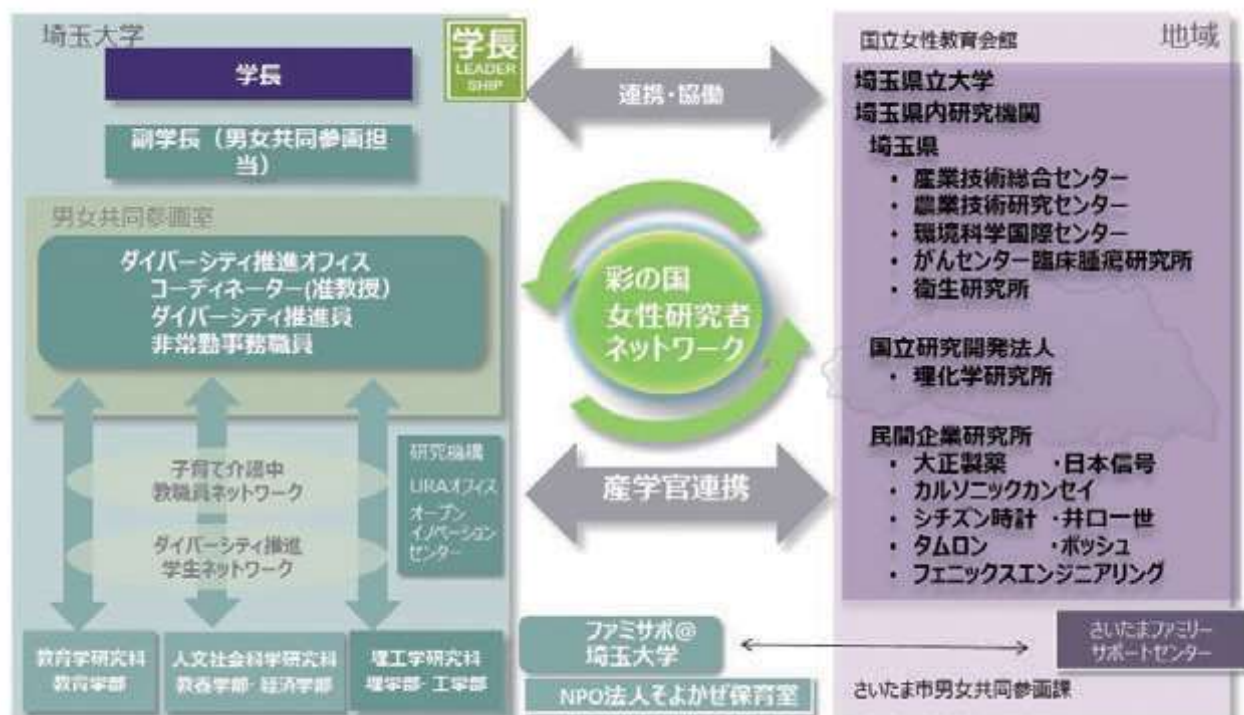
埼玉大学は埼玉県の女性研究者・技術者が相互に交流し、女性研究者・技術者の活躍を推進するために、埼玉県の5つの研究機関（環境科学国際センター、衛生研究所、産業技術総合センター、農業技術研究センター、がんセンター臨床腫瘍研究所）とともに、2017年6月6日、「彩の国女性研究者ネットワーク」を立ち上げました。

埼玉大学ではこの「彩の国女性研究者ネットワーク」を県内企業、研究機関、大学等に拡大し、女性研究者・技術者の活躍により、埼玉県地域全体のダイバーシティ推進を図りたいと考えています。そして、多様な視点と発想による研究・技術開発のさらなる活性化を目指します。また、女性研究者・技術者や男女共同参画（ダイバーシティ推進）担当者の方々と共に、男女を問わず子育て・介護などのライフイベントの中にある研究者・技術者が働きやすい環境づくりに取り組みます。さらに、このネットワークの活動を通して、研究者や技術者を目指す女子学生に多様なロールモ

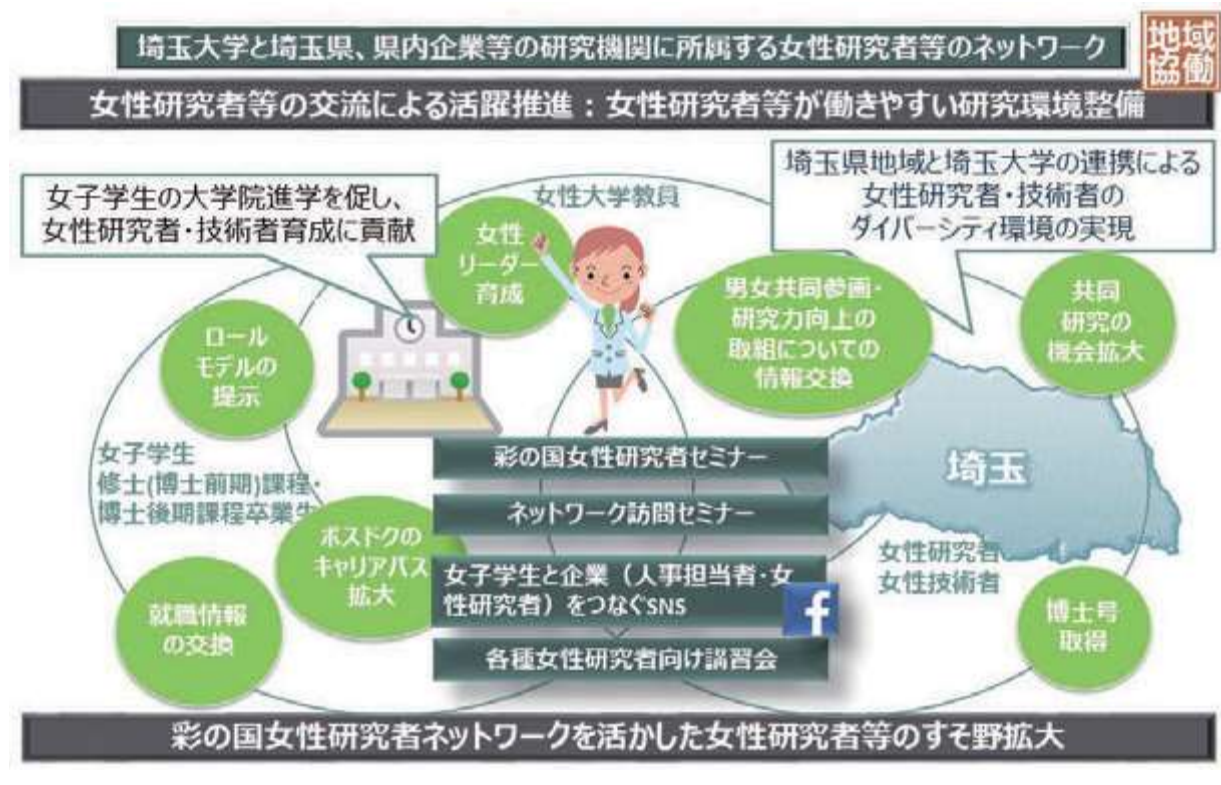
デルやキャリアパスを示し、次世代研究者・技術者育成を促進したいと考えています。

2018年度、新たに民間企業3社（株式会社タムロン、ボッシュ株式会社、株式会社フェニックスエンジニアリング）に本ネットワークのご参画をいただきました。また、2018年12月21日、連絡会において、彩の国女性研究者ネットワーク会則を制定しました。そして、2018年9月10日、ネットワーク訪問セミナー：埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所（本活動報告 p.44掲載）、2018年10月26日、ネットワーク訪問セミナー：埼玉県産業技術総合センター（同 p.45掲載）、2018年12月21日、彩の国女性研究者シンポジウム（同 p.42掲載）、2019年2月14日、介護セミナー（同 p.22掲載）、2019年2月27日英語論文執筆・学会発表セミナー（同 p.33掲載）を開催し、各ネットワーク機関による、男女共同参画やダイバーシティ推進に資するイベント情報などのメール配信を行いました。

彩の国女性研究者ネットワーク実施体制



彩の国女性研究者ネットワークの取組



参画のメリット

- ネットワークを通して、出産・育児・介護と仕事の両立など、研究者・技術者にとって有用な情報交換ができ、貴社・貴学のダイバーシティ推進に貢献できます。
- 講演会等を通して、貴社・貴学のダイバーシティの取り組み等を広く知らせることができます。
- 男女共同参画、出産・育児・介護と仕事の両立などに関する相談窓口を設置しますので、ご希望の場合は貴社・貴学の皆様にご利用いただけます。
- ネットワークを通して、研究資金獲得等研究遂行上、有用な情報が得られます。
- ネットワークによる情報交換により、共同研究開拓の機会が拡大するなどのメリットがあります。

民間企業の皆様

- 講演会等を通して、貴社のダイバーシティの取り組み等をネットワーク参画大学の学生・院生に向けて広報することができ、貴社のインターンシップ参加者、並びに就職希望者増加につながる事が期待できます。
- SNSを通して、ネットワーク参画大学の女子学生・院生に採用やインターンシップに関する情報を提供することが可能になり、貴社の女性研究者・技術者増加につながる事が期待できます。

※ネットワーク参画により生じる義務はありません。

参画の手続き

ネットワークへの参画をご検討いただけます場合には、埼玉大学男女共同参画室ダイバーシティ推進オフィスまでご連絡ください。

第2回 彩の国女性研究者ネットワーク シンポジウム

～埼玉県の女性研究者・技術者の活躍推進と次世代育成に向けて～

日時 2018年12月21日(金)

場所 埼玉大学 総合研究棟シアター教室

「彩の国 女性研究者ネットワーク」とは、ネットワーク参画機関が相互に協力・連携して、女性研究者・技術者が活躍しやすい環境作りを寄与することを目的として、平成29年度に立ち上げたネットワークです。

本シンポジウムには、本学教職員・学生だけでなく、他大学の方々や、民間機関・公的機関の方々等、合わせて143名の来場者が集まりました。

山口宏樹学長は開会挨拶の中で、埼玉大学の女性教員比率は18.2%と全国の国立大学の平均16.8%を若干上回っているものの、理系に限ると8.1%であるため理系女性研究者増加の必要性を説明されました。また研究者を目指す女子学生が増えるよう、彩の国女性研究者ネットワークの活動の広がりを楽しんでいると話されました。

続いて、学長特別賞「みずき賞」を受賞された理工学研究科川合真紀教授のスピーチが行われました。「埼玉大学で研究室を立ち上げてから10年間、多くの方に助けていただいたおかげで受賞することができ感謝している、若手研究者へのサポートや学生のロールモデルになれるよう今後さらに活動していきたい」と話されました。

※「みずき賞」は、教育研究活動に顕著な功績を残し、かつ女性研究リーダーとして活躍する自然科学系の女性研究者を学長が表彰するものです。

第1部では、「次世代育成のための機関紹介」と題し、彩の国女性研究者ネットワークに参画する6つの機関「大正製薬株式会社、公立大学法人埼玉県立大学、埼玉県産業技術総合センター、日本信号株式会社、シチズン時計株式会社、ボッシュ株式会社(発表順)」の方々にご登壇いただき、機関のご紹介、研究者としての働き方、研究内容などについてお話いただきました。第一線で活躍する研究者からの進路選択・キャリア形成に役立つ様々な事例を、多くの学生が熱心に聞き入っていました。また発表の後の質疑応答(パネルディスカッション)では、学生からの質問に加え、研究者の皆さまから、若手へのメッセージが伝えられ、「先輩のキャリアを見ることで自分のキャリアを考える意味でもとても良い機会だった」との声が聞かれました。

第1部終了後には、ラウンジにてコーヒープレイク&ポスターセッションが行われました。ポスターセッションでは、若手研究者が最新の研究成果を発表しました。コーヒータンや紅茶を飲みながらのリラックスした雰囲気の中、発表者へ積極的に質疑応



ポスター



学長挨拶



みずき賞受賞挨拶(川合教授)

答が行われ、研究者どうしが互いに交流を深める機会となりました。

第2部では、彩の国女性研究者ネットワークに参画する「埼玉県農業技術研究センター、国立研究開発法人理化学研究所、公立大学法人埼玉県立大学、埼玉大学理工学研究科(発表順)」の研究者の方々による、研究についてのご発表が行われました。

専門なお話を分かりやすく解説していただき、「多様な研究内容が聞けてよかった」「女性ならではの視点で研究されていることが伝わった」「フィードバックし今後に役立てたい」との声も聞かれました。

彩の国女性研究者ネットワークには、現在、16の機関が参画しており、各機関には多くの女性研究者が活躍しています。今回、各機関の研究者・技術者の方々にご協力いただき、「彩の国女性研究者ネットワーク 研究者・技術者紹介集」を作成しました。ネットワークに参画する研究者・技術者の皆様の交流のきっかけとなるよう、会場の皆さまに配布しました。

約3時間30分に及んだシンポジウムは、大盛況の内に幕を閉じました。



ポスターセッション



ポスターセッション



会場全体



登壇者集合写真



第一部ディスカッション

■ 彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナー

埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所

日時 2018年9月18日(火)

場所 埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所

2018年度第1回目となる「彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナー」では、北足立郡伊奈町にある埼玉県立がんセンターを訪問しました。12人の学生が、がん医療の最先端の研究現場を見学しました。

セミナーは、埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所長で、本大学大学院「がんの分子生物学」連携教授を務める上條岳彦研究所長の話からスタートし、研究所では、新たながん治療の開発やがんのメカニズムの解明などの研究が行われていることを説明されました。



チラシ



上條岳彦研究所長



和田朋子先生



菅沼雅美先生



研究紹介を聞いている学生たち

上條所長に続き、診断研究グループ主幹の大平美紀先生が染色体マクロアレイを用いた研究について説明されました。

同じく技師の和田朋子先生は、薬剤師から研究の道を選んだ経歴と現在の研究のやりがいについてお話しください、技師の杉野隆一先生は、研究と子育ての大変さをお話くださいました。

今回オーガナイズして下さったのは客員研究員(理工学研究科助教授)の菅沼雅美先生です。

次にグループに分かれ、研究者と学生との懇談会形式での座談会を行いました。

学生からは「どうして研究者の道を選んだのか」「現在の研究は何か」「研究していて楽しいことは何か」等、たくさんの質問が出る中、研究者の方々は大変丁寧に分かりやすく答えていました。

「学生時代にやっておく大事なことは」の質問に対して、研究者の方々からは「どこにチャンスが広がっているか分からないから一期一会を大切にしよう」、「学生生活の夏休みは長いので、何か目的を持って有効に使った方が良くと思う」など経験者らしい頼もしいアドバイスをいただき、学生たちにとって、とても参考になった座談会になりました。

最後は研究所内のラボツアーです。マイクロアレー、

フローサイトメーターAriaなどの最先端技術の装置を前に、学生たちは質問を交えながら研究者の方々の説明を真剣に聞いていました。

学生たちからは「普段は見ることでできない施設の見学ができて、興味深かった」「将来の就職の選択肢の1つになった」などの感想が寄せられ、大変貴重な経験になりました。



座談会の様子



ラボツアー

■ 彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナー

埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)

日時 2018年10月26日(金)

場所 埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)

平成30年度第2回目となる「彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナー」では、川口市にある埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)を訪問しました。8名の学生が、産業技術支援機関の現場を見学しました。

初めに埼玉県産業技術総合センターの中村雅範センター長より、SAITECが製品開発、製品分析・測定のほか様々な技術支援を行い、産業の発展に日々取り組んでいること、そして職員の働き方の支援にも取り組んでいること等、SAITECについての理解を深めていただきたいとのご挨拶がありました。次に企画担当の宇野彰一担当部長よりSAITECの概要についての説明がありました。

その後、参加者全員は施設見学を行いました。振動試験機、人工気候室、電波暗室、大型X線CT装置などの大型装置を間近で見て、学生たちからは多くの質問が上がり職員の方々は、その都度丁寧に分かりやすく説明してくださいました。

カラー3Dプリンターの説明と製品の紹介展示

後半は埼玉県で働く職員のためのWLBの各制度や職員採用試験について紹介していただきました。

初めに育児支援制度について、化学技術担当の伊藤幸希主任より、特例休憩時間や部分休業など子育て中に取得できる制度の説明がありました。次に、企画担当の大澤直幸技師及び電気・電子技術担当の岡崎祥吾技師より、職員採用試験について説明がありました。近年は、試験方法が2種類あり、自分の希望する職種に合った試験を選んでみると良いとアドバイスをいただきました。

続いて女性研究者のロールモデルとしてお話くださったのは本学の卒業生でもある、埼玉県産業技術総合センター北部研究所の小島登貴子副所長です。

小島氏は食品分析、開発の研究に携わり、本学の分析センターにおいて小麦のNMR測定を行い、埼玉大学大学院にて博士号をお取りになりました。研究者の心得として、「地道にデータを取ること」「研究器具を大切に扱うこと」などを、学生にアドバイスしてくださいました。

参加した学生たちからは「たくさんの装置の使い方や仕組みを紹介してくれてよかった」「今まで考えていなかった分析方法を知ることができた」などの感想が寄せられ、大変貴重な経験になりました。



チラシ



電波暗室(電波ノイズの量の測定など)



大型X線CT装置の前で熱心に説明を聴く学生



カラー3Dプリンターの説明と製品の紹介展示

V

アウトリーチ活動

さいたま市桜区職員研修 「全ての職員が働きやすい 職場環境づくり」

日時 2018年7月18日(水)

場所 さいたま市桜区役所

さいたま市桜区が実施した職員研修で、ダイバーシティ推進オフィスの幅崎麻紀子准教授が講師を務めました。「全ての職員が働きやすい職場環境づくり～女性の活躍とワークライフバランスを契機とした職場環境づくり」と題し、30名ほどの職員を対象に、講義を行いました。

働きやすい職場を実現するためには様々な観点がありますが、今回は「女性の活躍」「ワークライフバランスの充実」をキーワードに講義を行いました。

「私たちの『働き方』の認識のベースには、これまでの日本社会が培ってきた男性主体の働き方があります。近年、少子高齢化の進展や働き方のパラダイム変換等により、働き手のライフスタイルは多様化しています。女性の就業率は年々上昇しているものの、子育てとの



講義の風景



講演する幅崎准教授

両立の問題等から就業を希望しながらも働くことができない女性もまだまだ多くいます。まずはそうした女性が活躍でき、ひいては管理職に登用される職場をつくるのが、働きやすい職場づくりの第一歩です。今まで働く場に参画していなかった多様な人たちを包摂することのできる職場環境は、実は男性にとっても働きやすい場で、新しい働き方のスタイルや理念を定着するチャンスです」との説明がありました。

また、ワークライフバランスとは仕事と生活の調和を実現することであり、全ての人に必要な考え方であることを理解してもらいつつ、講義の中での「生活時間振りワーク」や参加者どうしの意見交換を通して、参加者ご自身のワークライフバランスを見直していただくヒントを与える機会となりました。

埼玉県出前起業家講座

「起業」という働き方を知る・考える・実践する

日時 ①2018年10月14日(日) ②2018年11月4日(日)ともに13:00~16:00

場所 ①大宮ソニックシティ803会議室 ②埼玉大学全学講義棟3号館1階教室

埼玉県主催で、若い世代の起業家の育成を目的として、中学生・高校生を対象とした出前「起業家講座」が実施されています。この講座は、起業に対する興味や関心を高めてもらうよう、地域の起業家による講演やワークを通して、起業に限らず将来のキャリアデザインを考えるための講座です。本講座の【基礎編】では、3名の講演があり、本学からダイバーシティ推進オフィスの幅崎麻紀子准教授が講師として登壇しました。「ワーク・ライフ・バランス」の説明をしながら、自分ら

しいライフプラン(人生設計)を実現するための方法について話しました。

また、11月4日の【応用編】では、自分が起業家となったときをイメージしながら、グループでビジネスモデルを考えたり、そのビジネスモデルを発表するプレゼンテーション方法を学びました。中高生の生徒たちにとって起業やキャリアデザインを考える貴重な機会となりました。

デートDV全国防止ネットワーク 関東地区地域フォーラム2018

日時 2018年12月10日(月)13:30~16:30

場所 埼玉県男女共同参画推進センター(With youさいたま) セミナー室1・2

埼玉県内では、県、地区町村、大学、高校が主体となり積極的にデートDV予防教育が行われています。そのような体制がどのように確立されたか、そしてどのように問題意識が高まってきたのかをテーマに、デートDV予防教育に先進的に取り組む方々が集まりフォーラムが開かれました。

埼玉大学からは教育学部田代美江子教授及びダイバーシティ推進オフィス幅崎麻紀子准教授が「大学生を対象としたデートDV予防の取り組みと展望」と題した講演を行い、性暴力やジェンダー平等について反復的な教育をしていく必要性を述べました。

また「埼玉県でのデートDV予防教育の実践について」と題してパネルディスカッションが行われ、パネリストとして田代教授、幅崎准教授、埼玉県男女共同参画推進センター 事業・相談担当 都築久江氏、パートナーシップさいたま 事業コーディネーター 宇野慶子氏、アウェア 吉祥真佐緒氏、コーディネーター NPO法人レジリエンス 西山さつき氏らとの議論が交わされました。当日は50名を超える参加者とともに、デートDV予防教育について学びあう機会となりました。



チラシ

講座内容

「商社勤務から起業家へ。世界で通用する起業家になるためには」

講師: 株式会社デジタルベリー
代表取締役 赤羽根康男氏

「自分らしい人生を選択～起業家としての生き方～」

講師: 株式会社コミュニティネット
代表取締役 今井房子氏

「ライフプラン(人生設計)の立て方」

講師: 埼玉大学ダイバーシティ推進オフィス
幅崎麻紀子准教授



チラシ

NWEC「男女共同参画推進フォーラム」ワークショップ 女性研究者ネットワークの意義と可能性

～岩手大学、大分大学、金沢大学、東京農工大学、埼玉大学～

日時 2018年8月31日(金) 10:00～12:00

場所 国立女性教育会館(NWEC)

平成30年度「男女共同参画推進フォーラム」において、ワークショップ「女性研究者ネットワークの意義と可能性 ～岩手大学、大分大学、金沢大学、東京農工大学、埼玉大学～」を開催しました。当日は、大学関係者や行政関係者、NPO等で活動する方々、約25名の参加がありました。

はじめに、埼玉大学副学長(男女共同参画担当)堀田先生より趣旨説明があり、岩手大学男女共同参画推進室の佐藤先生、大分大学COC+担当学長補佐の石川先生、金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリーの西脇先生、東京農工大学女性未来育成機構の松本先生、埼玉大学男女共同参画室ダイバーシティ推進オフィスの幅崎先生が、順番に、それぞれの大学や地域での取り組みについて報告をしました。各々が抱える課題が異なる中、補助事業期間中にネットワークの盛り上がりを見せるよう活動していること、地域や企業との連携を活発に行い、魅力的な取組とするように工夫していることなど、持続したネットワークとすべく努力をしている様子が報告されました。

ディスカッションの中では、ネットワークが研究者にとって有益な繋がりとなるための方策についての話題が議論されました。また、工学部へ女性限定公募を持っていく具体的な事例についての質問が出るなど、時間が足りなくなるほど、活発に、質問や意見が出されました。



チラシ



趣旨説明 (埼玉大学 堀田副学長)



フロアとの活発な意見交換



パネリスト 佐藤氏、石川氏 (左から)



パネリスト 西脇氏、松本氏、幅崎氏 (左から)

資料

年月日	活動内容
2017年～継続中	文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択
2018年 4月～継続中	ダイバーシティ相談
2018年 4月～継続中	新規採用教職員に研究倫理eラーニング受講を義務付け
2018年 4月～継続中	彩の国女性研究者ネットワーク参画機関訪問(11回)
2018年 5月10日	ファミリーサポート補助事業採択者決定(以後月1回)
2018年 4月23日	男女共同参画室リスタート研究助成制度採択者決定
2018年 4月 2日	「安心・安全な学生生活のために」講習会
2018年 5月 8日	彩の国女性研究者ネットワーク機関対象の登録状況調査
2018年 5月14日	男女共同参画室非常勤支援研究員制度採択者決定
2018年 5月21日	男女共同参画室研究補助制度採択者決定
2018年 5月15・17・21日	学部長・研究科長訪問(意見交換)
2018年 5月24日	男女共同参画室会議
2018年 5月24日	理系WG会議
2018年 6月5日	彩の国女性研究者ネットワーク参画機関拡大(参画機関:株式会社タムロン)
2018年 5月24日	SUDiversitySeminar2018,vol.2「ヨーロッパにおける女性研究者・技術者のキャリア形成」
2018年 6月22日	彩の国女性研究者ネットワーク参画機関拡大(参画機関:(株)フェニックスエンジニアリング)
2018年 6～7月	各学部教授会で女性教員数の現状と今後の目標の説明実施
2018年 6月12日	SUDiversitySeminar2018,vol.1「UNESCOとユネスコ・インターンシップの紹介」
2018年 6月20日	SUDiversitySeminar2018,vol.3「海外における男女共同参画」
2018年 6月26日	ワークライフバランスWG会議
2018年 7～11月	子育てインタビューの実施(5回)
2018年 7月18日	桜区職員研修「全ての職員が働きやすい職場環境づくり～女性の活躍とワークライフバランスを契機とした職場環境づくり～」
2018年 8月6～31日	保育状況に関する実態調査(子育てアンケート)の実施
2018年 8月 6日	ダイバーシティ推進オフィスニュースvol.3発行
2018年 8月 7日	理工系を目指す女子高生と保護者のための相談会(オープンキャンパス会場内)
2018年 8月31日	NWEC「男女共同参画推進フォーラム」ワークショップ
2018年 9月 1日	彩の国女性研究者ネットワーク参画機関拡大(参画機関:ポッシュ株式会社)
2018年 9月 1日	事務補佐員採用
2018年 9月 1日	戦略的ポストサイクルシステム(女性限定公募)による女性助教採用
2018年 9月18日	彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナー埼玉県がんセンター臨床腫瘍研究所
2018年 9月19日	男女共同参画室研究補助制度採択者決定
2018年 9月19日	埼玉大学自然科学系女性研究者の会(魔女会)
2018年 9月20日	さいたまファミリー・サポート・センター入会説明会・講習会
2018年 9月26日	子育てランチミーティング開催
2018年10月14日 2018年11月 4日	埼玉県出前起業家講座「ライフプラン(人生設計)の立て方」
2018年10月23日	埼玉大学&サイタマ・レディーズ経営者クラブ合同授業
2018年10月23日	男女共同参画室会議
2018年10月26日	彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナー埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)
2018年11月 2日	全学FD研修会(男女共同参画について)
2018年11月 3日	学長特別賞(みずき賞)表彰者の公表
2018年11月 8日	第10回埼玉大学男女共同参画室講演会
2018年11～12月	介護に関する実態調査の実施
2018年12月 6日	彩の国女性研究者ネットワーク参画促進のための機関訪問
2018年12月10日	デートDV防止フォーラム
2018年12月21日	第2回彩の国女性研究者ネットワークシンポジウム
2018年12月21日	彩の国女性研究者ネットワーク担当者連絡会
2019年 2月 6日	ダイバーシティWG会議
2019年 2月 6日	SUDiversitySeminar2018,vol.4・女性活躍推進に関する女子学生応援セミナー「みんなが働きやすい職場とは？」
2019年 2月14日	SUDiversitySeminar2018,vol.5・彩の国女性研究者ネットワークセミナー「介護セミナー&ランチミーティング」
2019年 2月27日	SUDiversitySeminar2018,vol.6・彩の国女性研究者ネットワークセミナー「英語論文執筆・学会発表セミナー」
2019年 3月 4日	男女共同参画室会議
2019年 3月11日	ダイバーシティ推進オフィスニュースvol.4発行
2019年 3月	国際共同研究スタート相談リーフレット発行
2019年 3月	平成30年度ダイバーシティ推進事業活動報告書発行

科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業(特色型)」

2018年度ダイバーシティ推進事業活動報告書

国立大学法人埼玉大学
男女共同参画室 ダイバーシティ推進オフィス

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

TEL/FAX:048-767-4011(内線5185)

E-mail:Diversity-s@gr.saitama-u.ac.jp

<http://park.saitama-u.ac.jp/~kyodo-sankaku/>

発行:2019年3月



埼玉大学男女共同参画室ダイバーシティ推進オフィス

住所：埼玉県さいたま市桜区下大久保255

電話番号・ファクス：048-767-4011

メールアドレス：diversity-s@gr.saitama-u.ac.jp

